南アメリカ・オセアニア
州

名前

問1　コーヒーの栽培に適した自然環境について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 年平均気温が25度以上、年降水量が4000mmを超える常に湿潤な熱帯環境
2. 年平均気温が16～22度、年降水量が500mm程度で、収穫期に雨が多い環境
3. 年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度で、収穫期に乾燥している環境
4. 年平均気温が10度前後、年降水量が500mm未満の冷涼で乾燥した環境

問2　ブラジルの歴史と人々の生活について説明した次の文章のうち、正しい記述はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. ブラジルは独立当初から多民族国家を目指し、アフリカやアジアから自発的な移民のみを受け入れて発展した。
2. 16世紀にスペインの植民地となったことで、先住民の文化とキリスト教が融合し、ヨーロッパ系の人々が人口の大部分を占めるようになった。
3. かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。
4. 広大なアマゾン川流域の開発を目的として、19世紀末にアメリカ合衆国から大規模な奴隷労働力が導入された。

問3　世界の農産物の統計において、生産量の国別割合がアメリカ合衆国（31.4%）、中国（23.9%）に次いで、ブラジルが世界第3位（8.1%）を占めている品目として正しいものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 米
2. 綿花
3. 小麦
4. トウモロコシ

問4　オーストラリアでは、気候条件に合わせて家畜の飼育場所が異なります。牛の放牧が、羊の放牧が盛んな南部や南西部とは異なり、特に北部から東部の沿岸地域に集中している主な理由として適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. これらの地域は降水量が比較的多く、牛の飼育に適した環境であるため
2. これらの地域は年間を通じて乾燥しており、羊よりも牛の方が乾燥に強いため
3. これらの地域は冷涼な気候であり、肉牛の肉質を維持するのに適しているため
4. これらの地域は小麦の栽培が盛んであり、その収穫後の藁を主な飼料とするため

問5　南アメリカ大陸にある二つの都市の統計を比較すると、一方は一年を通じて月平均気温が20度前後と温暖ですが、ボリビアのラパスは月平均気温が7度から11度の間で推移しており、非常に冷涼な気候を示しています。ラパスにおいて、低緯度（赤道に近い）であるにもかかわらずこのような気温になる理由と、この地域で古くから飼育されている家畜の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。（2017年 徳島県公立入試 類似）

1. 周辺を流れる寒流の影響で気温が低くなり、羊やヤギが飼育されている
2. 高緯度（極地に近い）に位置するため気温が低くなり、トナカイが飼育されている
3. 地中海性気候に属するため夏に乾燥して涼しく、牛や馬が飼育されている
4. 標高が高いため気温が低くなり、リャマやアルパカが飼育されている

問6　世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. アジア州
2. 南アメリカ州
3. 北アメリカ州
4. アフリカ州

問7　ブラジルでは、1990年代から2000年代にかけて衛星写真で確認できる森林面積が大幅に減少する一方で、統計上の耕地面積は655万haから866万haへと大きく拡大しました。このような土地利用の変化が起きた背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 福岡県公立入試 類似）

1. 先進国企業の工場を誘致するための広大な工業団地や、都市住民のための住宅地を整備することを目的として森林が開発された。
2. バイオ燃料の原料となるサトウキビの国際価格が下落したため、農家が経営を安定させるために耕地を縮小し、森林保護へと舵を切った。
3. 中国などの諸外国で大豆の輸入需要が高まったため、輸出用の大豆を生産する農地を確保しようと大規模な森林伐採が行われた。
4. ブラジル国内の人口急増に伴い、自給用のトウモロコシや小麦の生産を拡大させるため、熱帯雨林が伝統的な焼畑農業の場へと転換された。

問8　近年のオーストラリアの産業と貿易の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。
2. 北米自由貿易協定（NAFTA）に加盟したことで、最大の輸出相手国であるアメリカ合衆国へ原油を輸出する割合が増加した。
3. 国内での鉄鉱石の産出量が減少したため、現在は中国などの近隣諸国から原料を輸入して加工する工業が中心となっている。
4. アジア諸国との経済的な結びつきを弱めるため、イギリスを中心としたヨーロッパ諸国への鉄鋼製品の輸出を強化している。

問9　シドニーの降水量の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。なお、シドニーの年間降水量は約1000ミリメートル弱であり、気温は7月頃に最も低く、1月頃に最も高くなります。（2023年 鳥取県公立入試 類似）

1. 冬にあたる7月頃に降水が集中し、それ以外の季節は非常に乾燥する。
2. 一年を通じて降水量が極端に少なく、わずかな降水が冬にのみ見られる。
3. 夏にあたる1月頃は気温が高く、降水量がほとんどゼロになる乾季となる。
4. 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。

問10　日本とニュージーランドの月別平均気温を比較すると、一方が高い時期に他方が低くなるという、正反対の変化が見られます。このような地理的特徴を活かした、日本によるニュージーランドからのかぼちゃの輸入に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. ニュージーランドは赤道直下に位置し一年中気温が高いため、日本の収穫時期に関わらず毎月一定量を輸入している。
2. 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。
3. 日本でかぼちゃが大量に収穫される夏から秋にかけて、価格を抑えるためにニュージーランドからも同時に輸入している。
4. 日本とニュージーランドには大きな時差があるため、輸送中の鮮度劣化を防げるという利点を活かして輸入している。

問11　世界の国々の統計を示した資料において、国土面積が約7,692千km2と広大である一方、人口は約2,363万人と比較的少なく、森林割合が16.1%という低い数値を示している国はどこですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. インドネシア
2. オーストラリア
3. アルゼンチン
4. カナダ

問12　アンデス山脈の高地における伝統的な住居の構造と、その材料が選ばれた背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 標高が高く樹木が育ちにくいため、身近にある石や土を固めた日干しレンガを主な材料としている。
2. 草原地帯で放牧を行いながら移動を繰り返すため、布や動物の毛皮を用いた組み立て式のテントに住んでいる。
3. 季節風による大雨や洪水から家を守るため、コンクリートを用いた高床式の住居を建てている。
4. 熱帯のジャングルに囲まれており木材が豊富であるため、丸太を組み合わせた通気性の良い家を作っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度で、収穫期に乾燥している環境	コーヒーの栽培には、年平均気温が16～22度、年降水量が1000～3000mm程度という温暖で一定の雨量がある条件が必要です。特に、品質の良い豆を収穫するためには、収穫期に乾燥していることが好ましいとされています。これに対し、より冷涼で乾燥した環境を好むのは小麦などの作物です。
問2	答え 3 かつてポルトガルが先住民を支配するとともに、農園の労働力としてアフリカから多くの人々を奴隷として連れてきた。	ブラジルの多文化社会の根底には、ポルトガルによる植民地支配の歴史があります。16世紀以降、プランテーション（大規模農園）での労働力を確保するために、多くのアフリカの人々が奴隷として連れてこられました。資料などでもヨーロッパ系とアフリカ系の混血の人々が多いことが示される通り、こうした歴史的な人々の移動が、現在のブラジルの多様な人口構成につながっています。
問3	答え 4 トウモロコシ	アメリカ合衆国と中国が生産量の約半分を占め、ブラジルがそれに次ぐ上位にある統計はトウモロコシの特徴です。ブラジルは広大な国土を活かした大規模農業が盛んで、コーヒー豆だけでなくトウモロコシや大豆の生産でも世界有数のシェアを誇っています。これらの穀物は輸出用だけでなく、ブラジル国内で盛んな畜産業の飼料としても重要な役割を果たしています。
問4	答え 1 これらの地域は降水量が比較的多く、牛の飼育に適した環境であるため	オーストラリアの家畜分布は降水量と密接な関係があります。牛の放牧には多くの水が必要となるため、降水量が比較的多い北部や東部の沿岸地域で盛んに行われています。これに対し、乾燥に強い羊は、牛よりも降水量の少ない南部や南西部の半乾燥地域などで多く飼育されています。
問5	答え 4 標高が高いため気温が低くなり、リャマやアルパカが飼育されている	アンデス山脈に位置する都市は標高が高いため、低緯度であっても気温が上がらず、一年中涼しい高山気候となります。標高が100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるため、標高約3,600メートルに位置するラパスでは、平地よりも20度近く気温が低くなります。こうした冷涼な環境に適応した家畜として、古くからアンデス地域ではリャマやアルパカが荷物の運搬や毛の採取のために飼育されてきました。トナカイは北極圏周辺の寒帯で飼育される動物であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州、特にブラジルやアルゼンチンでは大豆の生産が非常に盛んであり、世界全体の生産量の半分以上を占めています。一方、カカオ豆のシェアが6割を超えるのはアフリカ州であり、統計資料を読み解く際は、作物ごとの主要な生産地域を区別して理解することが重要です。
問7	答え 3 中国などの諸外国で大豆の輸入需要が高まったため、輸出用の大豆を生産する農地を確保しようと大規模な森林伐採が行われた。	ブラジルにおけるアマゾンの森林破壊は、単なる国内問題ではなく、世界の市場経済と密接に関係しています。特に中国などの経済発展に伴い、家畜の飼料や食用油としての「大豆」の需要が世界的に急増しました。これに応えるため、ブラジルでは輸出用の大豆生産を拡大しようと、それまで手つかずだった森林を伐採して広大な耕地に転換する動きが加速しました。この事例は、ある国の輸入拡大（消費）が、遠く離れた国の森林伐採（生産地の環境変化）を引き起こすという、グローバル化社会における課題を象徴しています。
問8	答え 1 かつては羊毛の輸出が中心だったが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源を最大の輸出相手国である中国へ大量に輸出している。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまでは羊毛などの農産物をイギリスへ輸出する形が主でしたが、その後、石炭や鉄鉱石といった鉱産資源の輸出へと移行しました。輸出先もヨーロッパからアジアへとシフトし、現在は地理的な近接性と旺盛な資源需要を背景に、中国が最大の貿易相手国となっています。この関係は、オーストラリアの経済成長を支える大きな要因となっています。
問9	答え 4 南半球の夏にあたる1月前後を含め、各月に平均的な降水が見られる。	シドニーが属する温暖湿潤気候は、季節による降水量の偏りが少なく、一年を通じて平均的に雨が降ることが大きな特徴です。オーストラリア南部で見られる地中海性気候（夏に乾燥する）や、内陸部の乾燥帯（雨が極めて少ない）とは、この「年間を通じて安定した降水がある」という点で明確に区別されます。
問10	答え 2 日本でかぼちゃの収穫が困難な冬から春にかけて、季節が逆で収穫期にあたるニュージーランドから輸入している。	日本が位置する北半球と、ニュージーランドが位置する南半球では、季節が正反対になります。この「季節の逆転」を利用すると、日本が冬の時期に南半球のニュージーランドは夏から秋の収穫期を迎えることになります。日本で国内産のかぼちゃが品不足になる時期に、ちょうど収穫期となるニュージーランドから輸入することで、一年を通じて安定的に農産物を供給できるという補完的な貿易関係が築かれています。時差や赤道直下の気候は、この貿易の主な理由ではありません。
問11	答え 2 オーストラリア	広大な国土面積（約769万km2）に対して人口が約2,300万人と少ないのが、オセアニア州に位置するオーストラリアの大きな特徴です。また、国土の大部分に乾燥帯が広がっているため、森林の割合が20%以下と他の広大な国々と比較しても低くなっています。一方、インドネシアは島国ですが人口が2億人を超える人口大国であり、カナダは面積がより広く森林率も高いという違いがあります。
問12	答え 1 標高が高く樹木が育ちにくいため、身近にある石や土を固めた日干しレンガを主な材料としている。	高山気候の地域では森林限界を超えることが多く、建築用の木材を入手することが困難です。そのため、伝統的には周辺で手に入る石や、土を成形して太陽光で乾燥させた日干しレンガが住居の材料として利用されてきました。これにより、昼夜の寒暖差が激しい環境においても、室内の温度を一定に保つ工夫がなされています。